交通安全のぐんま

2018.1 第277号



(公財) 群馬県交通安全協会 群馬県交通安全活動推進センター



よくみよう 車のあとに またくるま

毎月1日は 県民交通安全日

毎月15日は 自転車マナーアップデー

毎月25日は 高齢者交通安全日



公益財団法人 群馬県交通安全協会 新年のごあい さつ

町 田 錦一郎

心から感謝を申し上げます。 会の諸活動に深いご理解、ご協力を賜り、 動に多大なるご尽力を頂くとともに、当協 お迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。 さて、昨年中の県内交通事故情勢につき また、平素から地域における交通安全活 明けましておめでとうございます。 皆様方には、ご家族共々輝かしい新春を

> す。 事故防止対策が急務であると考えておりま おいても高齢者を対象とした効果的な交通 増加傾向にあることに変わりなく、本年に いることや、高齢者が加害者となる事故も 特に、死者数の過半数を高齢者が占めて

て、歩行者の履き物に反射材を貼る啓発活 動をはじめ、「足元に生命の発信運動」とし 庭訪問」によるワンポイントアドバイス活 しては、女性部を中心とした「高齢者宅家 こうした中、私共交通安全協会と致しま

ものの、死者数にあっては、「知事声明」に ましては、発生件数、負傷者数は減少した

い、皆様をはじめ、関係機関・団体が一

年代に応じた各種交通安全教室を推進して 運転適性検査機等を搭載した「ふれあい号」 動や小学生に対する交通安全教室、 いるところであります。 による出前式交通安全教室等、それぞれの また、

ことから前年比5名の

9月中の激増があった

体となって抑止対策を 推進しましたが、8月・

増加となってしまいま

生活できる地域社会の実現に向けての活動 を継続してまいる所存でございます。 すべての県民を対象とした各種交通事故防 止対策を積極的に推進し、安全で安心して 件でも減少させるため、高齢者はもとより 本年におきましても、悲惨な交通事故を

願い申し上げます。 関係者各位の更なるご支援、ご協力をお

まして幸多い年でありますよう、心からご 致します。 祈念申し上げまして、新年のごあいさつと 結びに、迎えた平成30年が皆様方にとり



年のごあいさつ

幸せを実感でき、将来

明けましておめでとうございます。 群馬県交通安全協会の皆さまには、健や

標「人づくり」「安全で

に掲げた3つの基本目 くなるよう、総合計画 にわたって住み続けた

かな新春をお迎えのことと心からお喜び申 進してまいります。 実現に向けて、今年もさまざまな施策を推 り」「産業活力の向上・社会基盤づくり」の 安心できる暮らしづく

情報」を呼び込む拠点として大いに活用し、 者や女性の新たな雇用の場や「人・モノ・ ション施設がいよいよ着工となります。若 げます。 交流人口の増加による経済の活性化につな JR高崎駅東口に計画しているコンベン

域の特別支援学校で高等部の生徒を受け入 れるなど、地域に根ざした特別支援教育を 援学校で医療的ケアが必要な生徒も受け入 れるとともに、伊勢崎、太田の高等特別支 また4月から沼田、藤岡、富岡、吾妻地

層充実させます

線開通したことにより、群馬が誇る交通の

また念願であった国道17号上武道路が全

優位性がさらに高まりました。

人口減少社会にあっても県民一人一人が

群馬ならではの観光資源を活用した観光

念申し上げ、新年のあいさつといたします。

て健康で幸多い年になりますよう心から祈

結びに、この一年が県民の皆さまにとっ

ます。地元の皆さまが安心して暮らせるよう、 の完成に向けて着実に工事が進められてい

生活再建事業にしっかりと取り組みます。

わきました。

八ツ場ダムの堤体工事も本格化し、31年度

の記憶」に登録され、県内は大きな喜びに 続けられた「上野三碑」がユネスコ「世界昨年は、13〇〇年の長きにわたり守り

の県境にある100㌔にもおよぶ稜線を日 たな魅力を発信します。 として整備し、温泉地と結びつけながら新 本最長となる「ぐんま県境稜線トレイル」 誘客にも取り組みます。群馬と新潟、長野

産農畜産物の海外への販路拡大、道路網の や若者のUターンなど移住定住の促進、県 整備なども進めます。 さらに、子どもの居場所づくりへの支援

丸となって取り組んでまいります。 誇りと愛着をさらに深めていただけるよう 生かし、県民の皆さまにふるさと群馬への くれた多くの宝物があります。 岡製糸場と絹産業遺産群」や世界の記憶 高度なものづくり技術など、先人が残して 「魅力あふれる群馬」の実現に向け、 「上野三碑」などの誇るべき歴史文化遺産、 これらの優れた資源と限りない可能性を 本県には豊かな自然や温泉、世界遺産「宮

当協会では、 会員の皆様に各種特典をご用意し ております。

協賛店割引等優遇サービス



この標示のある施設・店舗等で、会員 証と免許証のご提示を頂くと割引等の 優遇サービスが受けられます。

県内協賛店加盟数982店舗等 他県75店 (H29.12月現在)

シートベルト着用促進見舞金

会員の皆様が、シートベルトを着用して自動車 を運転中(乗車中を含む。)に、交通事故によって 死亡または重度後遺障害を被った場合、死亡見 舞金(死亡保険金)若しくは重度後遺障害見舞金 (重度後遺障害保険金)をお支払いします。

交通事故入院見舞金

会員の皆様が、車・バイク・自転車・歩行中の 交通事故による負傷で30日以上継続入院された

5万円 一事故につき の見舞金をお支払いします。

詳しくは当協会ホームページ(http://www.gunma-ankyo.or.jp/)をご覧下さい。



新年のごあい 群馬県警察本部長 さつ 毅

り、皆様方をはじめとす が発令される事態とな

本 和

新年明けましておめでとうございます。 公益財団法人群馬県交通安全協会の皆様方

えられたことと心からお慶び申し上げます。 には、輝かしい新春を御家族皆様とともに迎

会員の皆様方には、平素から、地域にお

を表する次第であります。 動を展開していただくとともに、警察活動 すことに、本紙面をお借りして敬意と謝意 各般にわたりお力添えをいただいておりま ける交通安全活動の中核として積極的な活 さて、昨年の県内の交通事故情勢であり

りに「交通死亡事故多発に伴う知事声明」 発生し、9月20日には、平成24年以来5年振 ますが、8、9月と交通死亡事故が連続して

> てきたところであります。 向けた諸対策を推進し る関係機関・団体のお ら、交通死亡事故抑止に 力添えをいただきなが

件数及び負傷者数も平成17年から13年連続 抑止することができ、更には人身事故発生 が、統計史上2番目に少ない事故死者数に 残念ながら一昨年を上回ってしまいました できました。 して減少させるという成果を上げることが その結果、昨年の事故死者数は67人と、

改めて御礼申し上げます。。 る多くの方々の地道な活動の賜物であり これもひとえに、会員皆様方を始めとす

交通人身事故発生件数及び死傷者数を平成 画に示されている「平成32年までに年間の 迎えた本年も、第10次群馬県交通安全計

> 認識しております 全対策、更には、将来を担う学童の安全確 27年実績より25%以上減少させる(死者数 保への取組を一層強化していく年であると 事故死者の半数以上を占める高齢者への安 概ね50人以下)」という目標を達成するため、

させることができるよう関係機関や団体の皆 やりのある運転を呼びかけるとともに様々な 様方と連携しながら、交通ルールを守った思い 諸対策を推進して参る所存であります。 皆様方には、引き続き、それぞれの地域 県警察では、悲惨な交通事故を一件でも減少

だきますようお願い申し上げます。 における交通安全活動の中核として、「交通 安全県・群馬」の確立に向け、御尽力いた 結びに、貴協会のますますの御発展と会

まして、年頭の挨拶とさせていただきます。 員皆様方の御健勝、御多幸を祈念申し上げ おおきなて あぶないよ 平成30年使用

- 平成30年1月31日(消印有効)
- ▶作品に使用する交通安全年間スローガン

ŧ 部門

ぶつかるよ ·般部門A= ながら運転 じこのもと

行けるはず まだ渡れるは もう危険 般部門B=

車といつしょ 左側 ☆こども部門= 自転車は

: 小・中学生まで

☆一般部門 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

行けるはず まだ渡れるは もう危険

☆一般部門 運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの

ぶつかるよ ながら運転 じこのもと

内閣総理大臣賞(最優秀作)

平成三〇年使用

全年間スローガ

☆こども部門

☆こども部門

☆歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

☆こども部門

とうげこう

おしゃべりはみだし

文部科学大臣賞(優秀作) 良いお手本 なれる自分が

カッコイイ

一杯で 消える未来と 消せぬ罪

危ないよ スマホじゃなくて 周り見て

☆運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの

内閣府特命担当大臣賞(優秀作)

☆こども部門

☆歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

ハイビーム 上手に使って 事故防止

反射材 自分をアピール 防ぐ事故

☆運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの

警察庁長官賞(優秀作)

よくみせて ちいさなきみの

自転車は 車といっしょ

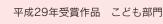
左側

· B (小・中学生、高校生も応募可) ·般部門A :一般および学生

- 「平成30年使用交通安全年間スローガン」の3部門で内閣総理大臣賞を受 賞した前記スローガンのうちいずれか一つを必ず原文のまま使って制作。
- ◆応募方法等の問い合わせ

毎日新聞社事業本部 「交通安全ポスター」 係 (Tel03-3212-0190)

毎日新聞社 交通安全ポスターデザイン募集





各地区の交通安全活動



自転車マナーアップ指導



ショッピングママ作戦



親と子の交通安全教室



ショッピングママ作戦



「早めのライト点灯」啓発活動



交通安全街頭指導



関係団体合同交通安全街頭指導



かかしまつり会場で交通安全啓発



交通安全マスコットの作成



交通安全総ぐるみ大会



交通安全街頭指導



高齢者交通安全教室



交通安全シルバーサミット開催



グランドゴルフ会場で交通講話



交通安全パレードの実施

交通安全協会では、皆様の会費によって様々な交通安全活動を行っています。交通安全協会へのご入会をお願いいたします。